

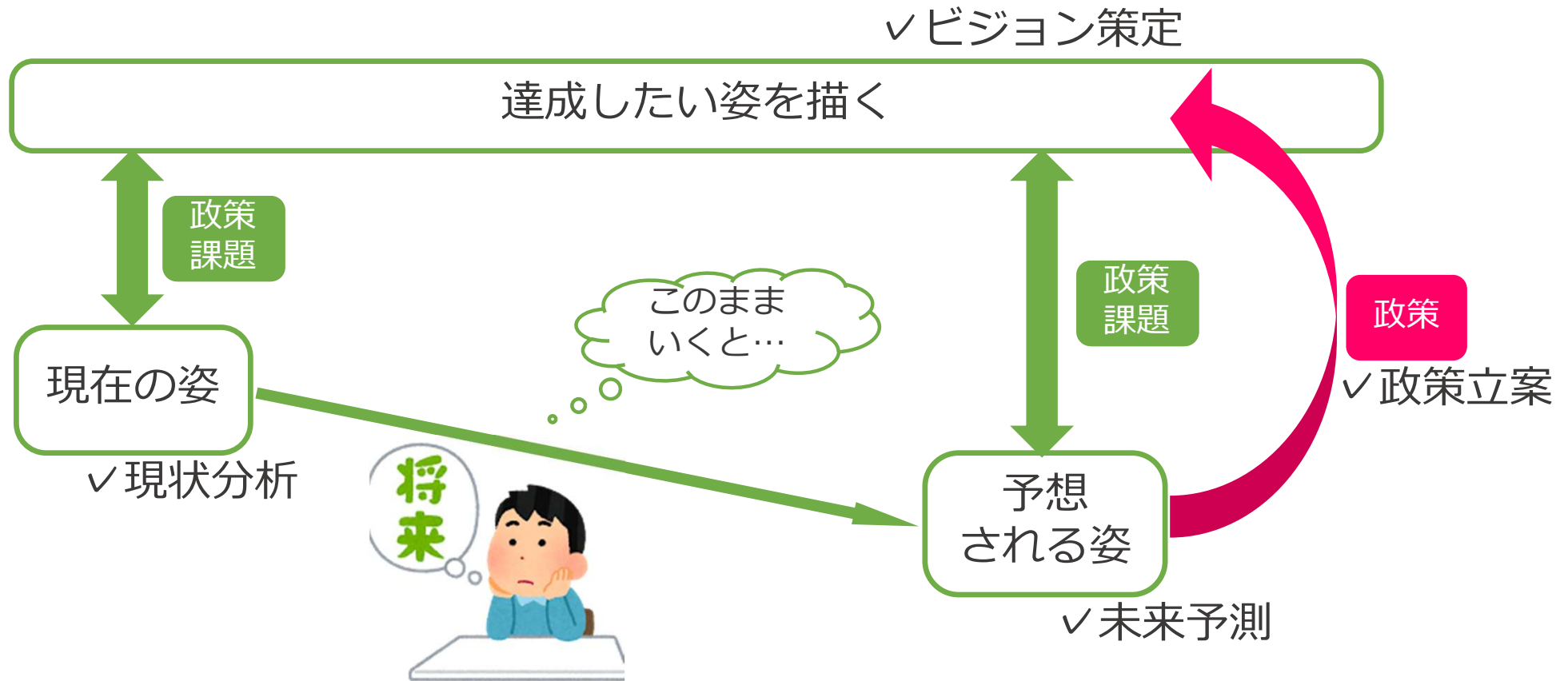


持続的な、
社会と世界を。

業務説明会

農林水産省 関東農政局

国家公務員ってどのような仕事？



- 現状分析→ビジョン策定→政策課題の特定・未来予測→政策立案→合意形成→政策実施
- いわゆる「社会を良くするしごと」
ただし、地方自治体や民間企業も、社会を良くするために働いているのは同じ。
違いは、1. 使えるツール（法律、予算、税制）
2. 「日本全体」の利益を考える役割

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産省では、「食」や「環境」を未来に継承していくことを使命として、農業生産から研究開発支援、食品安全まで、あらゆるフィールドの課題に取り組んでいます。

農林水産省の組織

▼農林水産省は、本省（約5千人）と全国の各地方ブロック機関（約1万4千人）で構成され、総定員数は約1万9千人です。

（主な機関）

- ・ **本省**…農林水産政策の企画立案
- ・ **地方農政局**…農業政策の実施・周知・把握
- ・ **森林管理局**…国有林野の管理
- ・ **植物防疫所**…植物の輸出入検疫等
- ・ **動物検疫所**…動物の輸出入検疫等

※その他、水産庁の出先機関「漁業調整事務所」があります
（札幌、仙台、新潟、境港、神戸、福岡）。



関東農政局とはどんなところ？

関東の農業は
どんな特色が
あるのかな？。

関東農政局って
どんな役割なの
かな？。

最初はどんな
仕事をする
のかな？。

関東農政局で
独自の業務は
あるのか？

お休みは取れる
のかな？
残業はあるのか
な？



将来

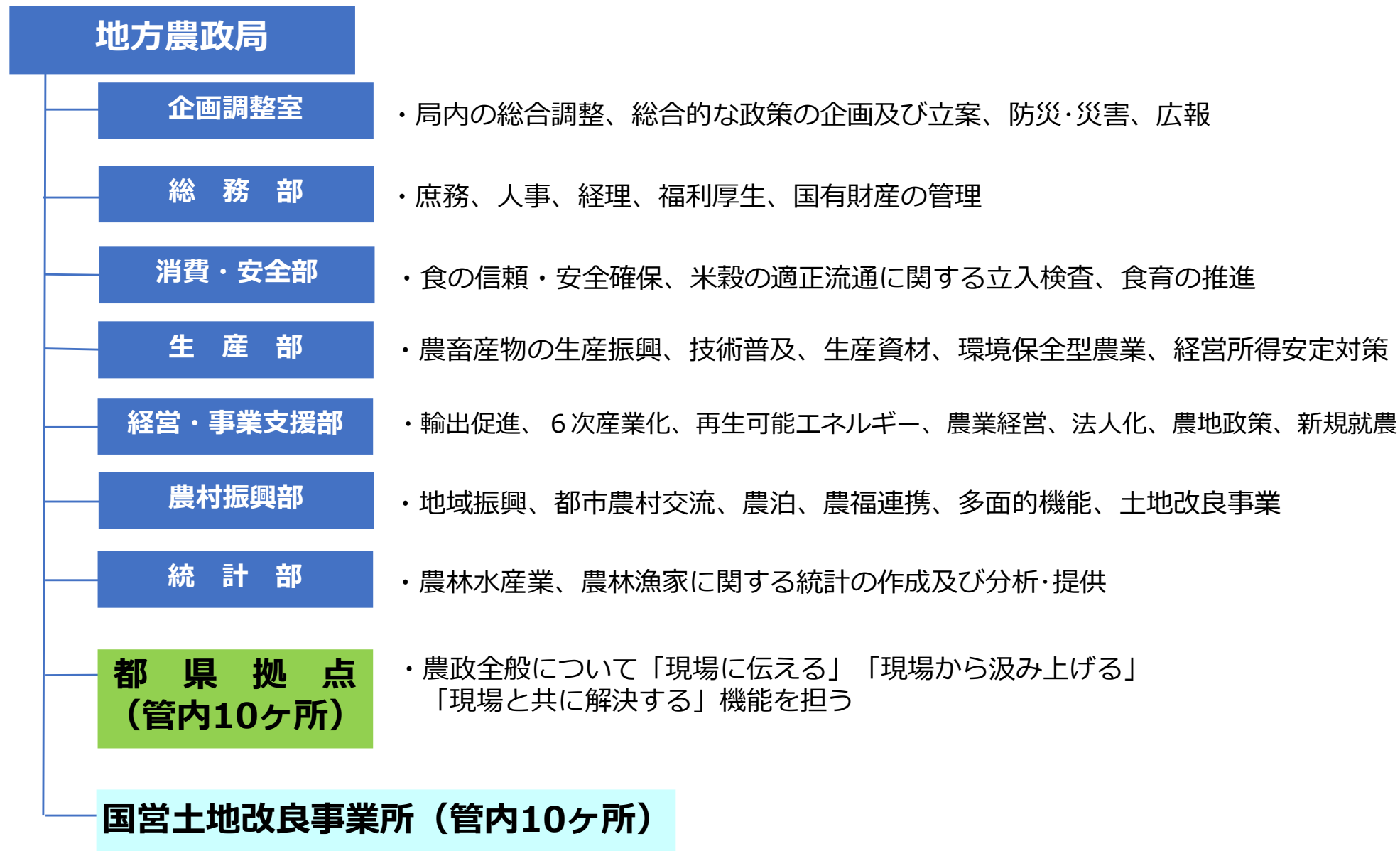


関東農政局管内地図

日本最大の食料消費地である関東では、アクセスのしやすさを生かし、鮮度が求められる野菜、果物、花の生産や、豚肉・卵などの畜産物の生産が盛んです。農業産出額は2兆6千億円で、全国の24.2%を占めています。



関東農政局の組織について

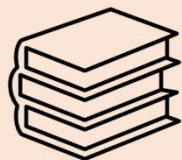


組織のMUST部署！総務部とは？

総務部の各班・各係は職員が存在、組織の維持・発展に必要不可欠！



総務課



総務、文書の管理、人事、厚生、給与の支給、勤務時間の管理 etc...

人事担当がいなかったら、自分も含め職員がいなくなります。給与支給担当がいなかったら、生活していけなくなります。

局全体の業務や組織について
知ることができ、
農林水産省職員としての
視野が広がる

会計課



契約、物品の調達、支払い、各種補助金の交付、財産の管理 etc...

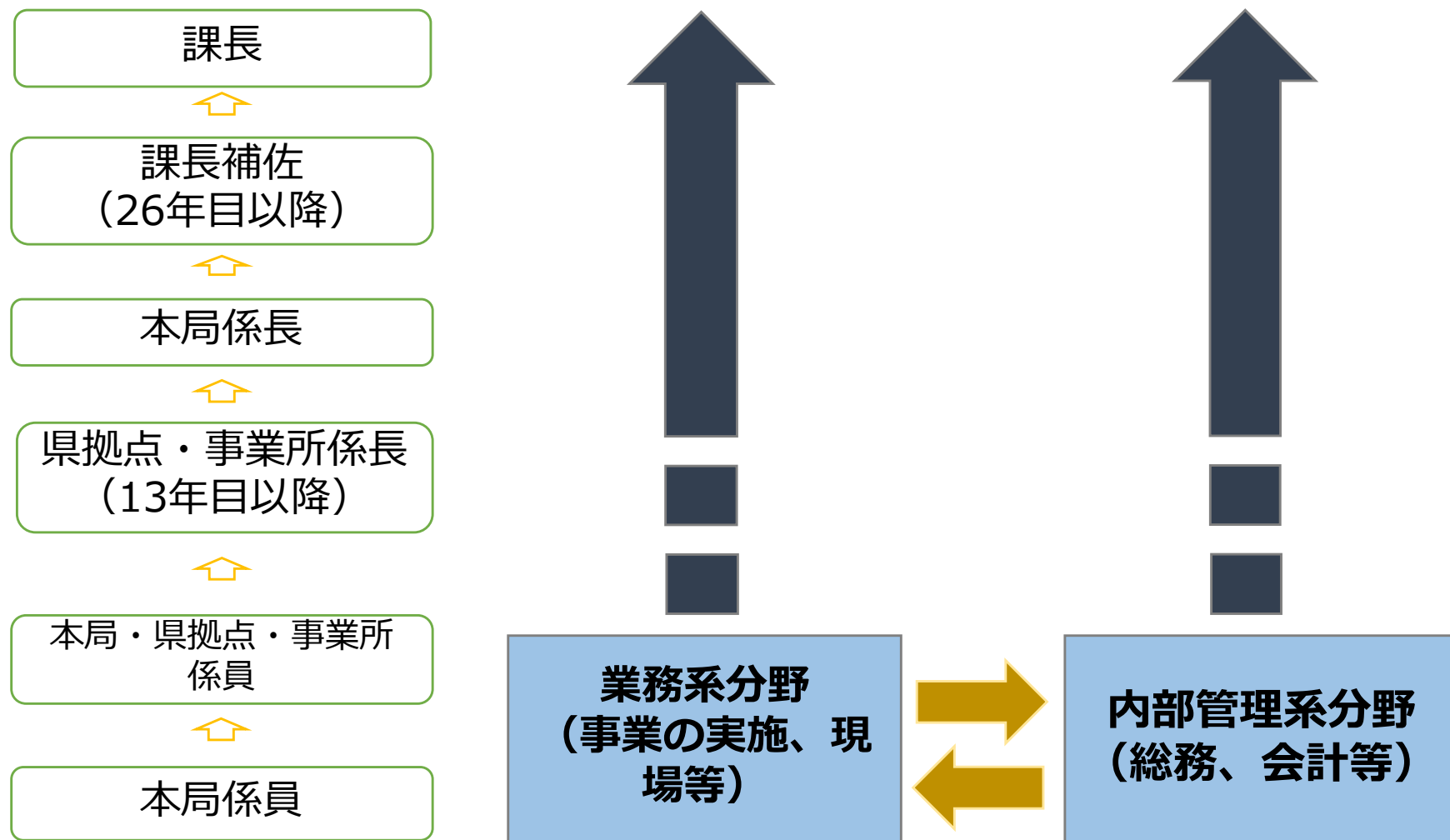
物品・財産担当がいなかったら、目の前のPCがなくなり、働く場所もなくなります。補助金担当がいなかったら、多くの事業が止まります。

予算の動きや局内の事業を
知ることができ、
政策理解が深まる

総務の各担当部署は、農政局の施策や予算を把握したり職員が安心して職務に専念できる環境や制度を整えたりする、組織の根幹となる必要不可欠な部署です。

キャリアパス（高卒者試験 事務（関東農政局採用））

さいたま市の本局に配属され、概ね2～3年ごとで、拠点、事業所、また、適正に応じて本省等に異動します。
その間、内部管理系分野の業務、業務系分野の業務等を様々に学び、経験値を高め、係長、課長補佐、管理職へと昇任していきます。



若手職員がどんどん活躍しています



【食ミラプロジェクト】

関東農政局の若手職員が、未来につながる持続可能な農業や食に関する情報を若手世代に発信していくプロジェクトです。本来業務を行いながら、活動しています。

イベント企画

みどり戦略を実践するコンテスト「学生チャレンジ」の表彰式等の企画運営、参加校との交流、夏休み親子見学デーの企画等



学生と職員の交流風景

BUZZ MAFF

食品ロス削減や地産地消等をテーマに、未来に繋がる持続可能な農業・食・環境に関する動画を発信（「駆け抜けて関東」）



食ミラインスタ

子育て世代などをターゲットに、持続可能な農業に取り組む生産者や、支えるお店などを紹介



その他

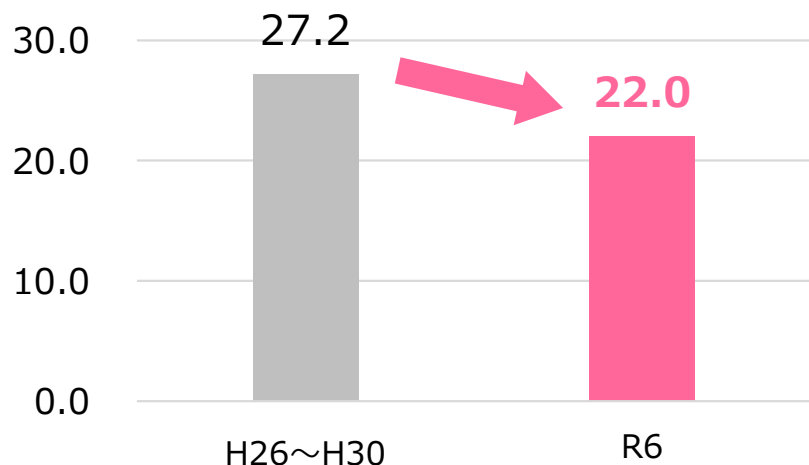
- ・若手職員が身体で農業を感じるため、生産者などを訪問し、農作業体験や意見交換を実施
- ・大学等を訪問し、未来の食や環境について私達に何ができるのか等を一緒に考えるグループ討議を実施



職員の働き方（働き方改革）

○ 超過勤務時間は減少傾向

（時間/月）



出典：農林水産省HPを基に作成

○ 職員一人当たりの超過勤務時間（一月あたり）

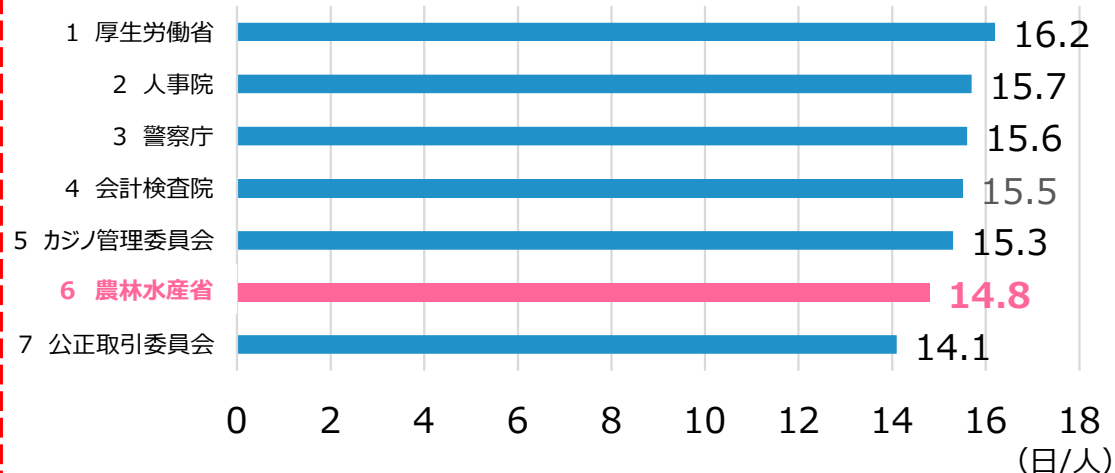
本省 （常勤職員）	22.0時間
地方機関 （常勤職員）	6.8時間
合 計	10.8時間

※令和6年における職員一人当たりの平均超過勤務時間数。
出典：農林水産省HP

○ 休暇取得

一人当たりの年次休暇取得日数は、**全省庁で6番目**

年次休暇取得日数（国家公務員（行政））



出典：内閣府男女共同参画局 女性活躍推進法「見える化」サイト R4年末数値

○ 多様な働き方

テレワーク、フレックスタイム制度、早出遅出出勤など、ライフスタイルに合わせた勤務時間の選択が可能。保育園の送り迎えなどに活用が可能です。

いろいろな働き方が選べるね！



職場環境の改善

- 全職員に持ち出し可能な端末（セキュア端末）が配布され、全職員が新しいソフトウェア（**Microsoft M365 E5（Teams等）**）を活用できるシステム環境となっています。

通信環境が大幅に改善！

- ・ 広帯域で高セキュリティの回線が配備。
- ・ 庁舎内LANは、高速なWifi（Wifi6）通信が可能に。



すべて持ち出し可能な端末に！

- ・ 全職員に、高機能、高セキュリティ機能を備え軽量端末（セキュア端末）が配布。
- ・ 庁舎外でも携帯電話の電波が届く場所であれば、業務が可能。



コロナを経て働き方が変革しています！！

Teams等の利用で働き方が変革！

- ・ Teamsは、チャット、ウェブ会議、ファイル共有、ファイルの共同編集といった機能が集約された新しいコミュニケーションツール。
- ・ ライセンスは全職員に配布され、誰でもウェブ会議を開催可能。
- ・ Teamsのほか、データ分析ができるPower BI、業務を自動化できるPower Automateなども全職員利用可能。



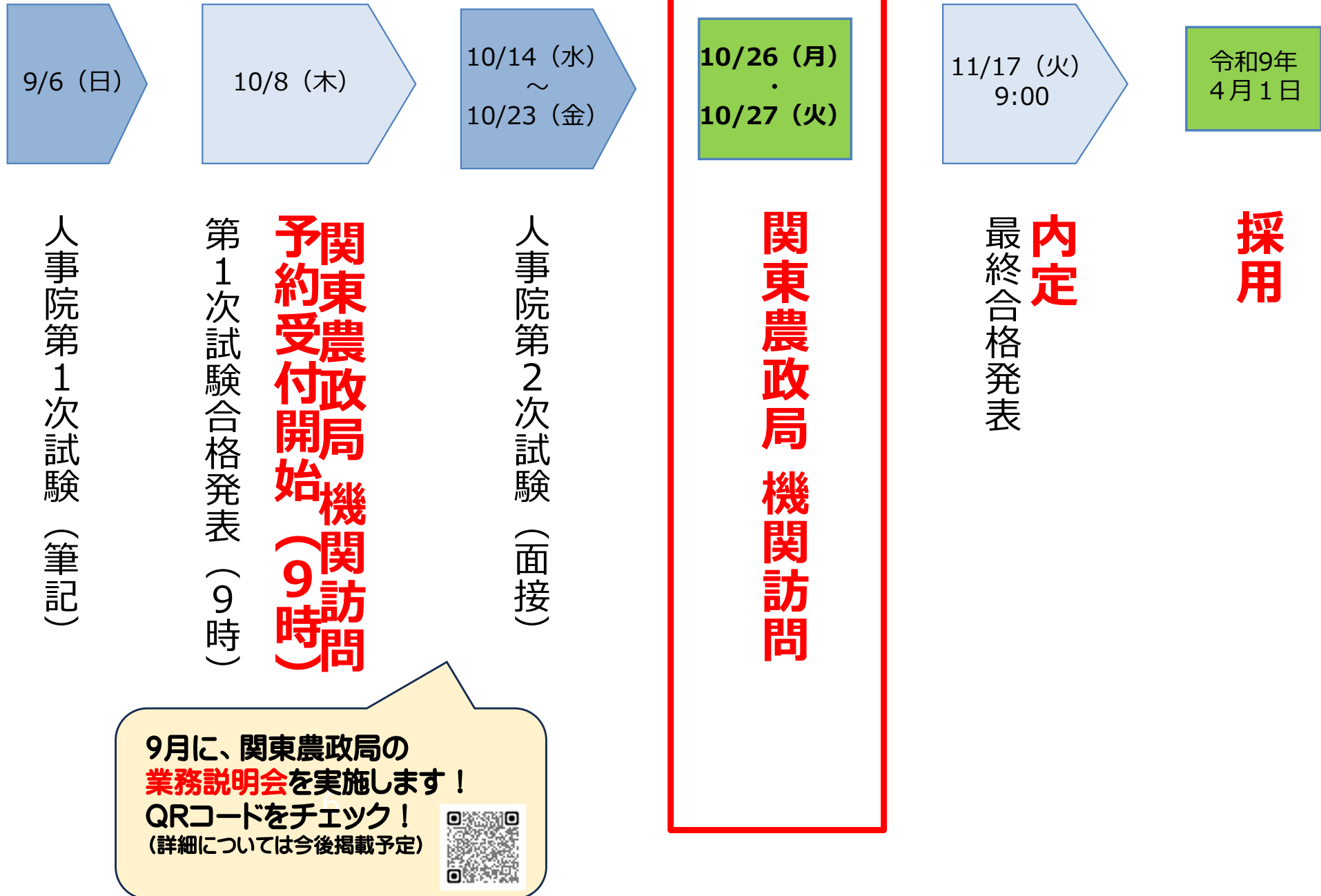
BYODで外出先でもコミュニケーションOK！

- ・ 私物スマートフォンに、Teamsなどのアプリケーションをインストールすることが可能。
- ・ これにより、外出中でも、チーム会合に参加することが可能。また、写真などの映像をTeamsに投稿することができるので、例えば、災害現場の状況などをリアルタイムに報告することが可能。

（注）BYOD：私物端末の業務利用



採用スケジュール（2026年度一般職試験（高卒者試験））



よくあるご質問と回答①

Q 1

入省ガイドを拝見し、都県拠点の業務に興味を持ちました。「現場と農政を結ぶ業務」とありますが、具体的にどういったお仕事なのか教えてください。

A 1

農業者や食品事業者へ、農林水産省の施策を伝え、また、悩みを聞き、解決策を提案する業務を担います。

現場には、解決困難な課題を抱えていたり、革新的な取組に挑戦しようとする方が多くいらっしゃいます。農家や販売店などに直接お伺いし、事業者の皆様の悩みを聞いて回り、活用できそうな補助金や制度を提案し、共に課題解決を目指します。

また、現場の生の声を聴くことができるので、「自分の仕事は誰のために行うのか」を知ることできます。

Q 2

関東農政局で採用後に、農林水産本省へ異動することはありますでしょうか。

A 2

キャリアプランの一環として本省へ異動し経験を積んでいただくことはありますが、その後、関東農政局へお戻りいただき、本省での経験を関東農政局へ還元していただきます。

関東農政局で採用された職員は、関東農政局の職員として、本局、拠点等で業務に携わっていただきます。したがって、本省職員としての勤務を希望する方は、本省が行う採用試験等の情報をご確認ください。

ご清聴ありがとうございました

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

関東農政局総務部総務課

採用担当者

齊藤(仁)、田村、齋藤(薫)、早園、飯塚

電話番号：048-740-0009
(直通)

メールアドレス：
kantou_saiyou@maff.go.jp



お問い合わせはこちらから！(↑)